

令和 3 年度
本学教育改善のための卒業生アンケート結果
(令和 3 年 9~10 月実施)

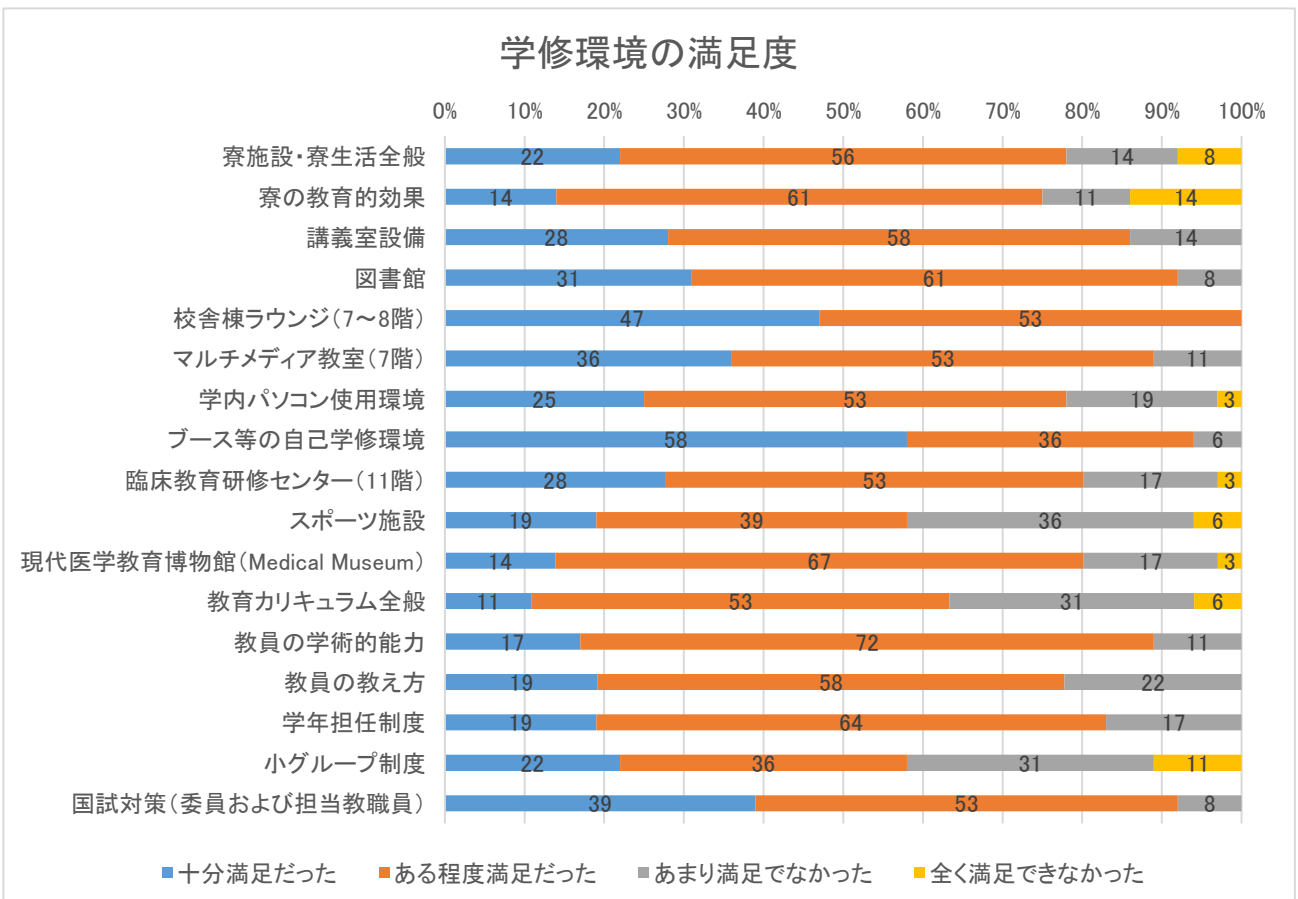
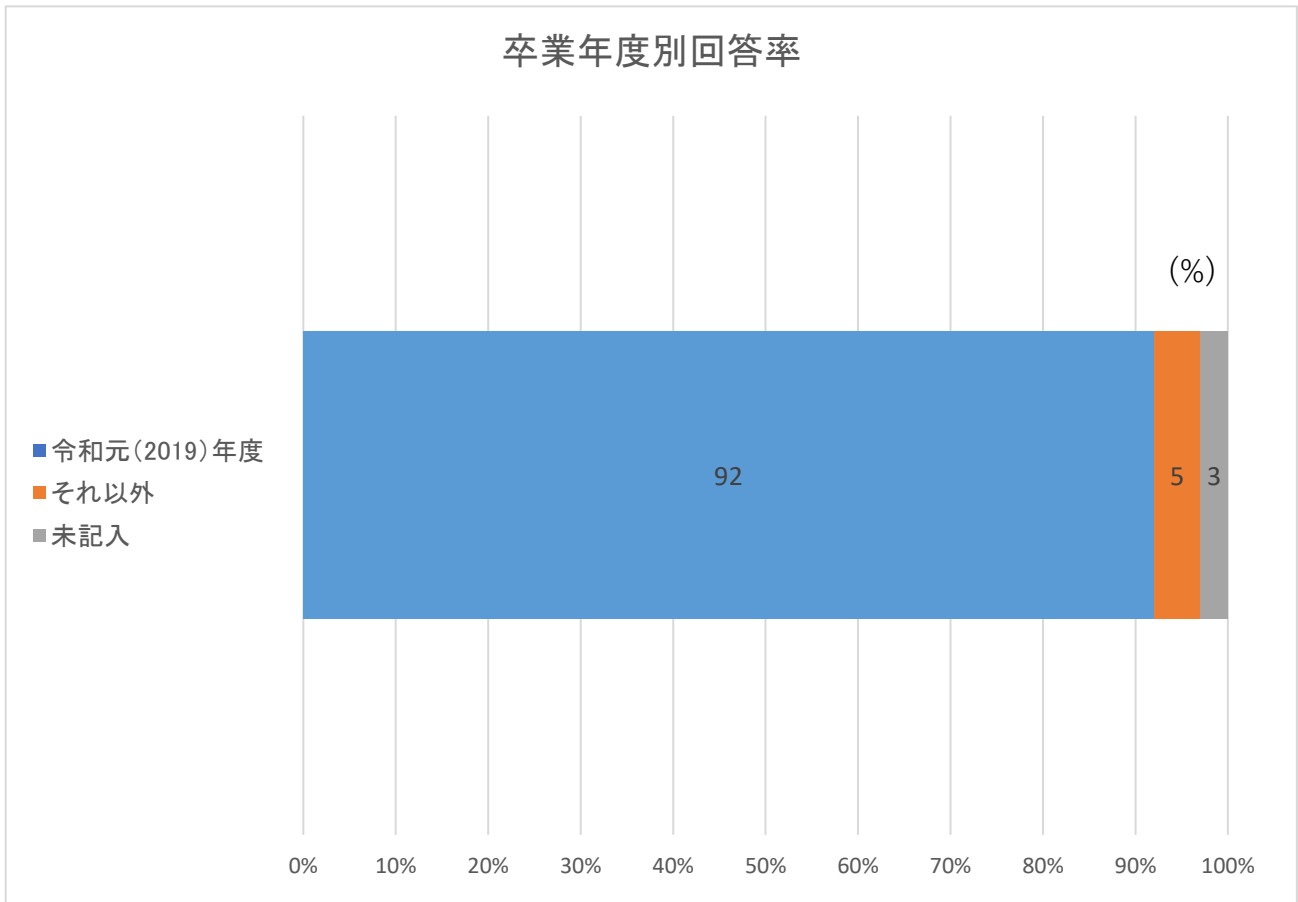
【対象研修医】：研修医 2 年目（R1.3 月卒業） 75 名

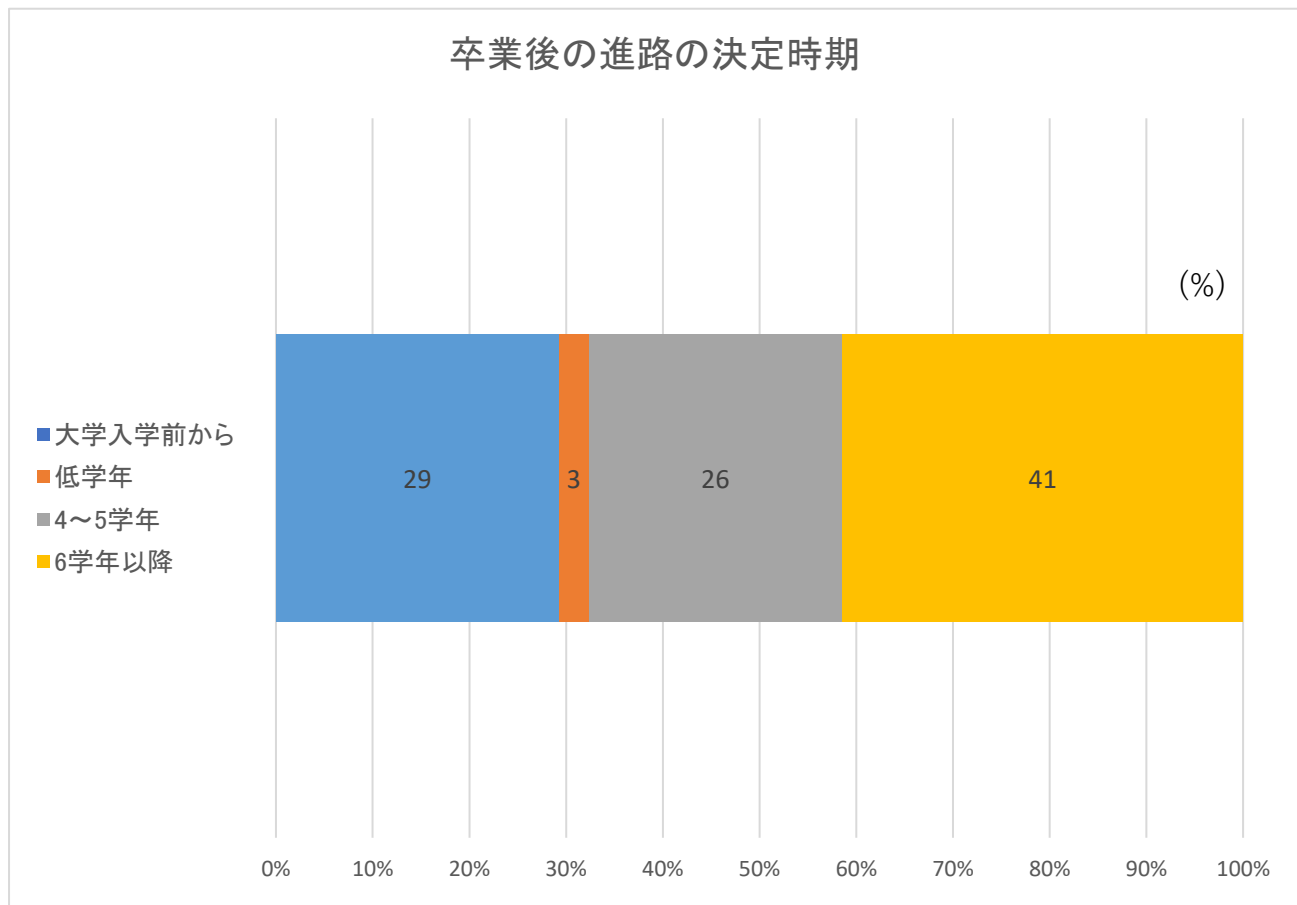
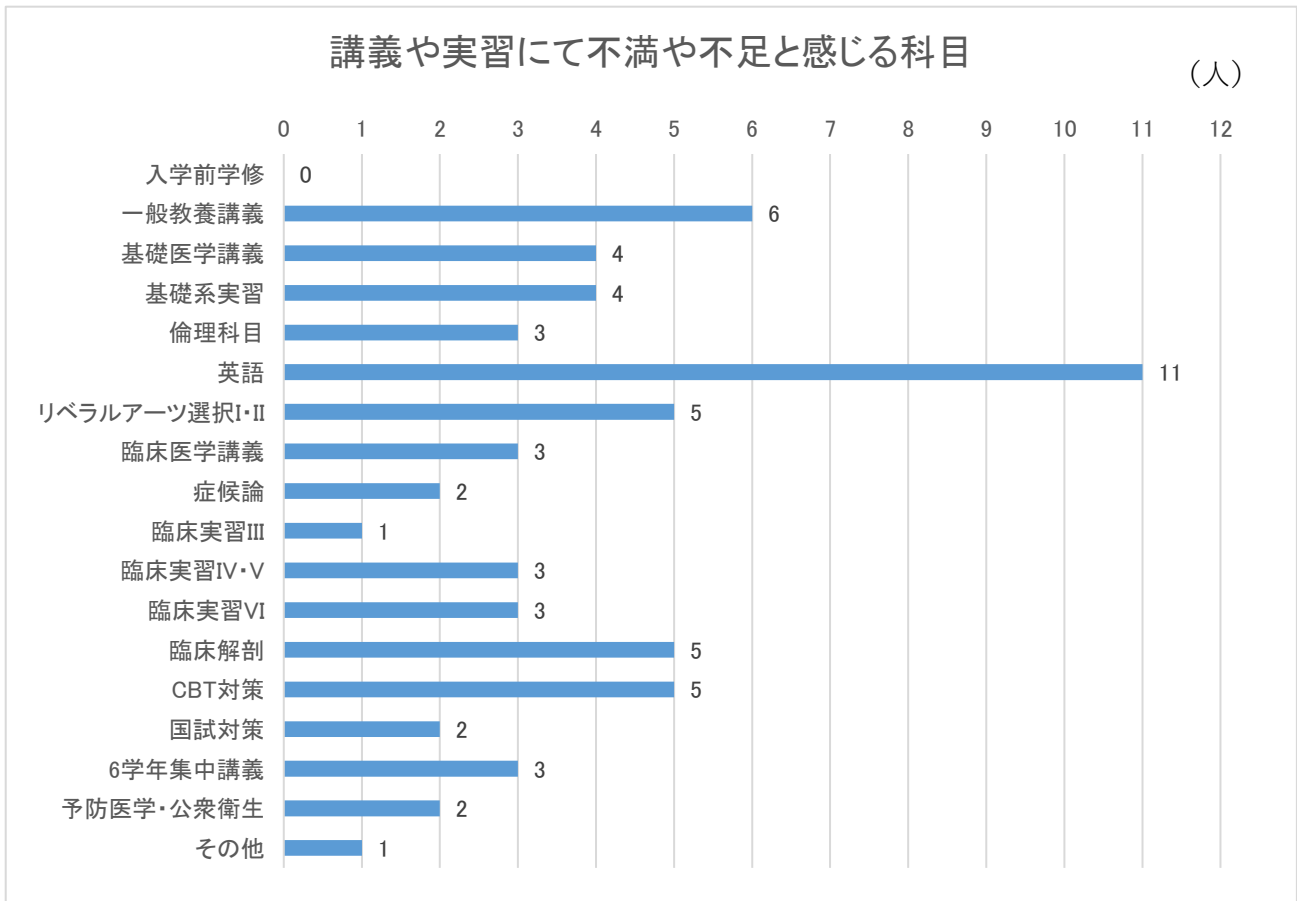
【回答数】：36 名（回答率：48.0%）

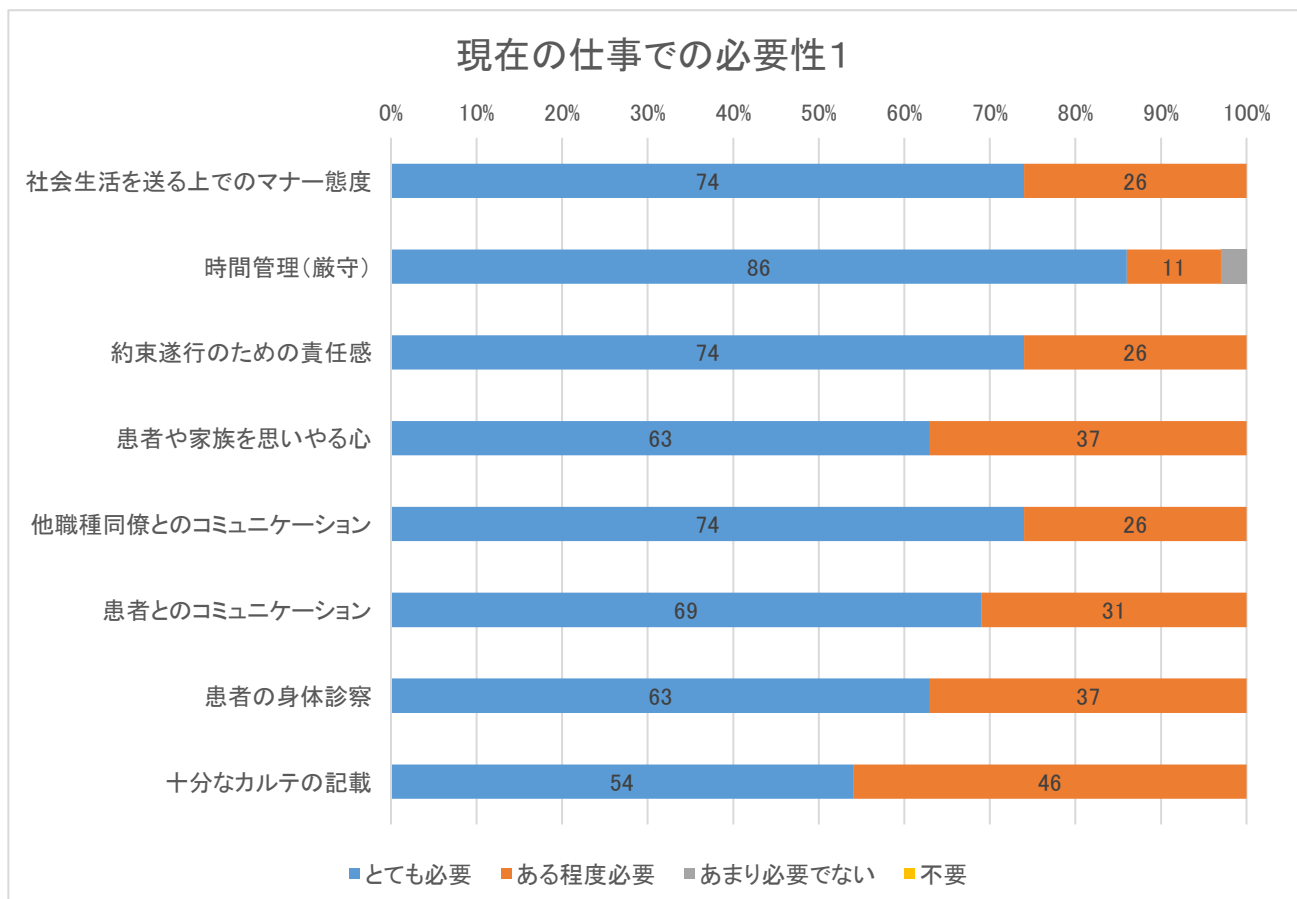
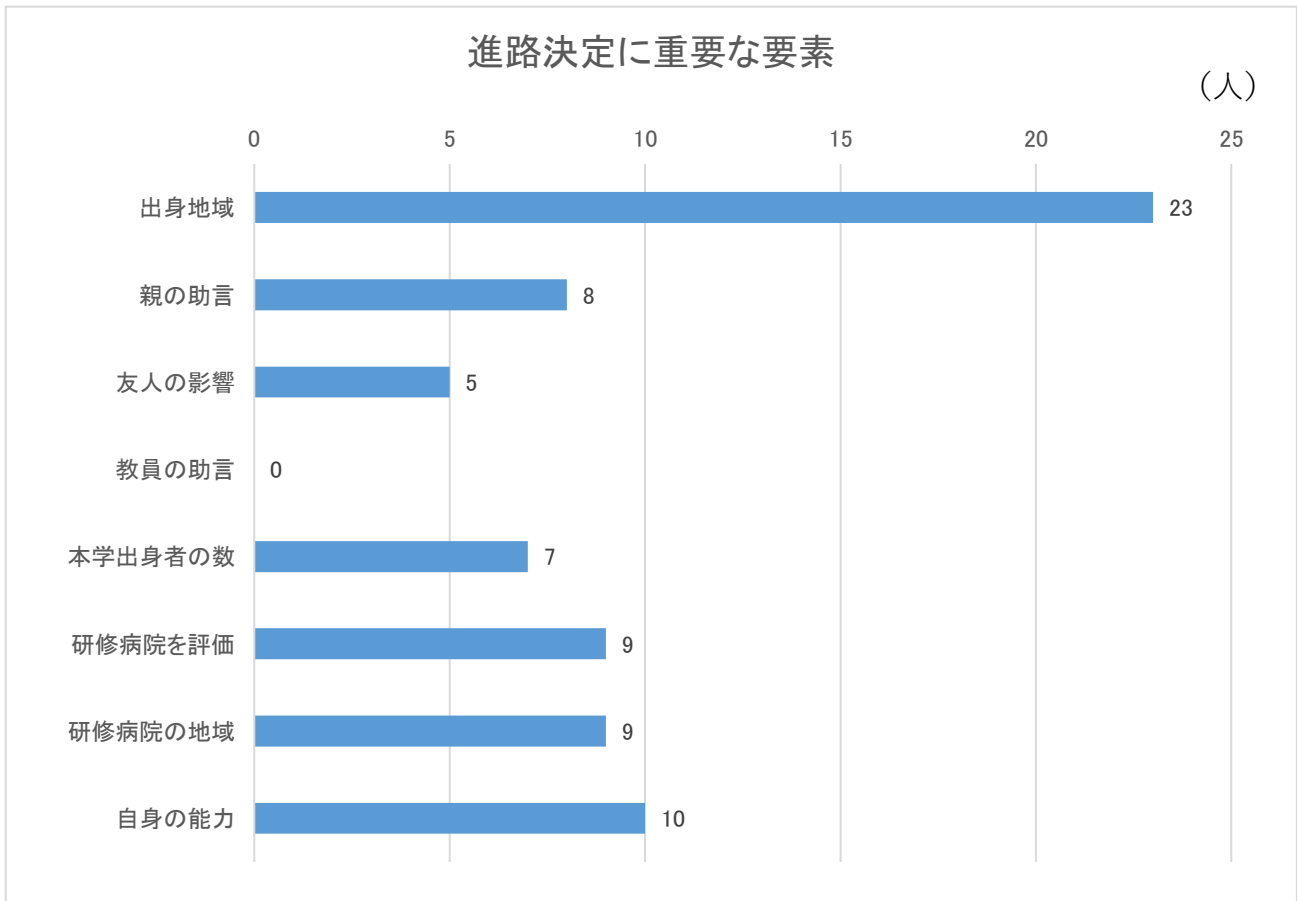
※昨年度：19.4%（72 名中 14 名）

【まとめ】

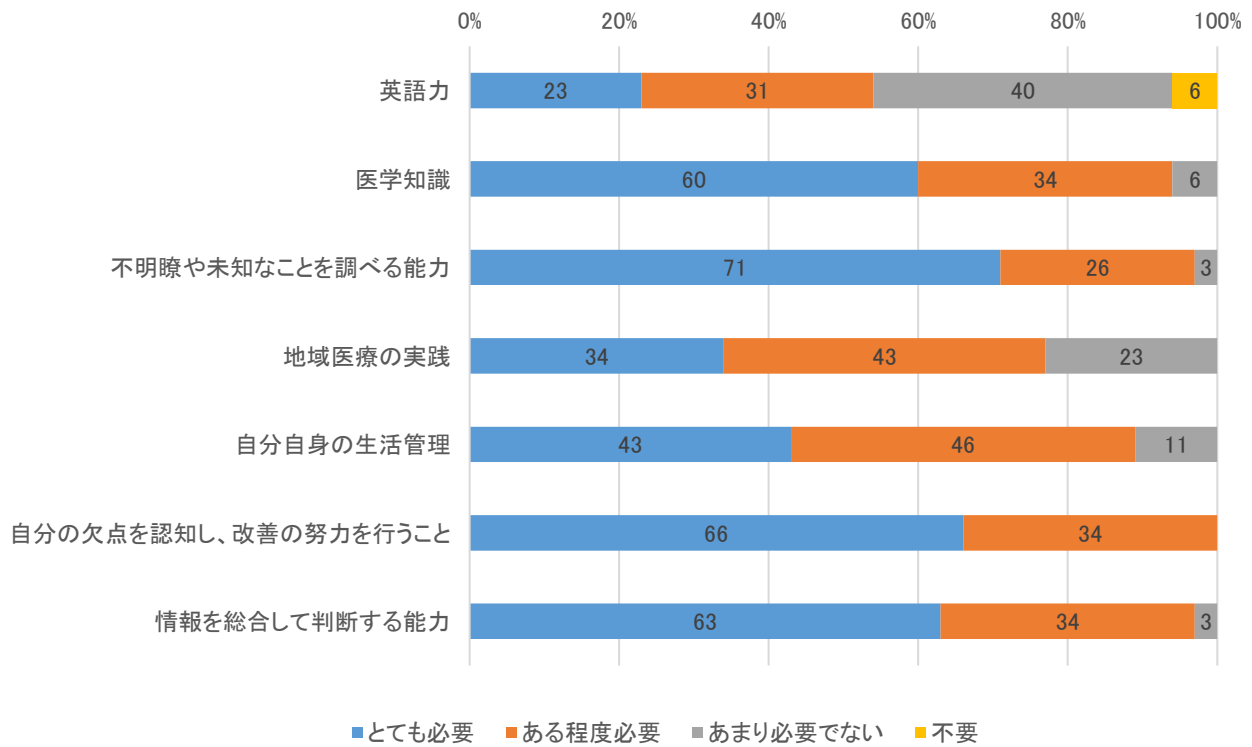
1. 大学時代の満足度が高かったのは、ブース等の自己学修校舎環境、校舎棟ラウンジ、国試対策（委員及び担当教職員）、マルチメディア教室などであった。
2. 大学時代の講義や実習で不満を感じる科目では、英語が最も多く、次いで一般教養講義の順であった。
3. 卒業後の進路は 6 年生になってから決めたのが 41%であった。決定に重視した要素では出身地域が最多であった。
4. 現在の仕事に必要なスキルは、時間管理、マナー態度、責任感、コミュニケーション、調査能力などの回答が多かった。また、大学時代に養われた態度では、時間厳守が最多で、患者や家族を思いやる心、医学知識が続いた。
5. 卒業生対象の生涯教育として学修したい内容では、臨床医学一般が最多であった。
6. 自由記載では、講義を録画して後から見られるのが良かった、熱心な先生が多かった、などの感想があった。



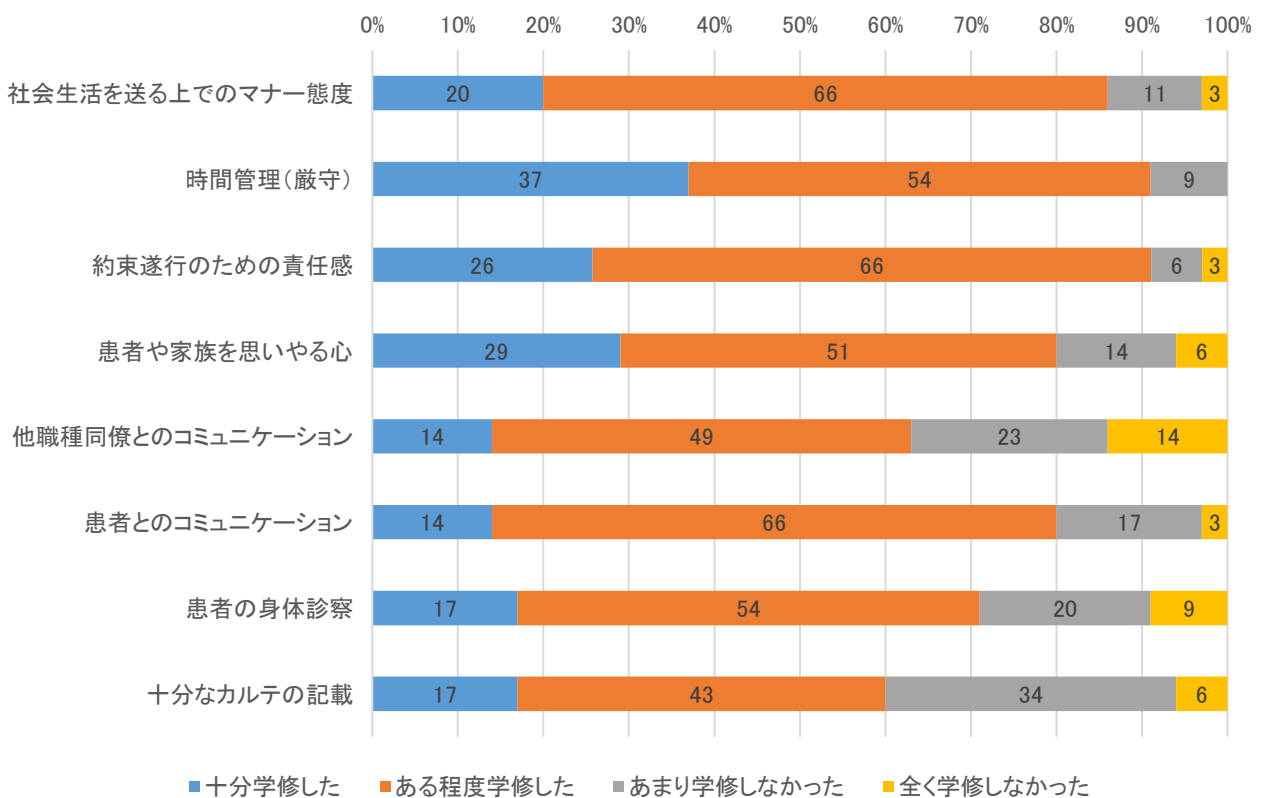




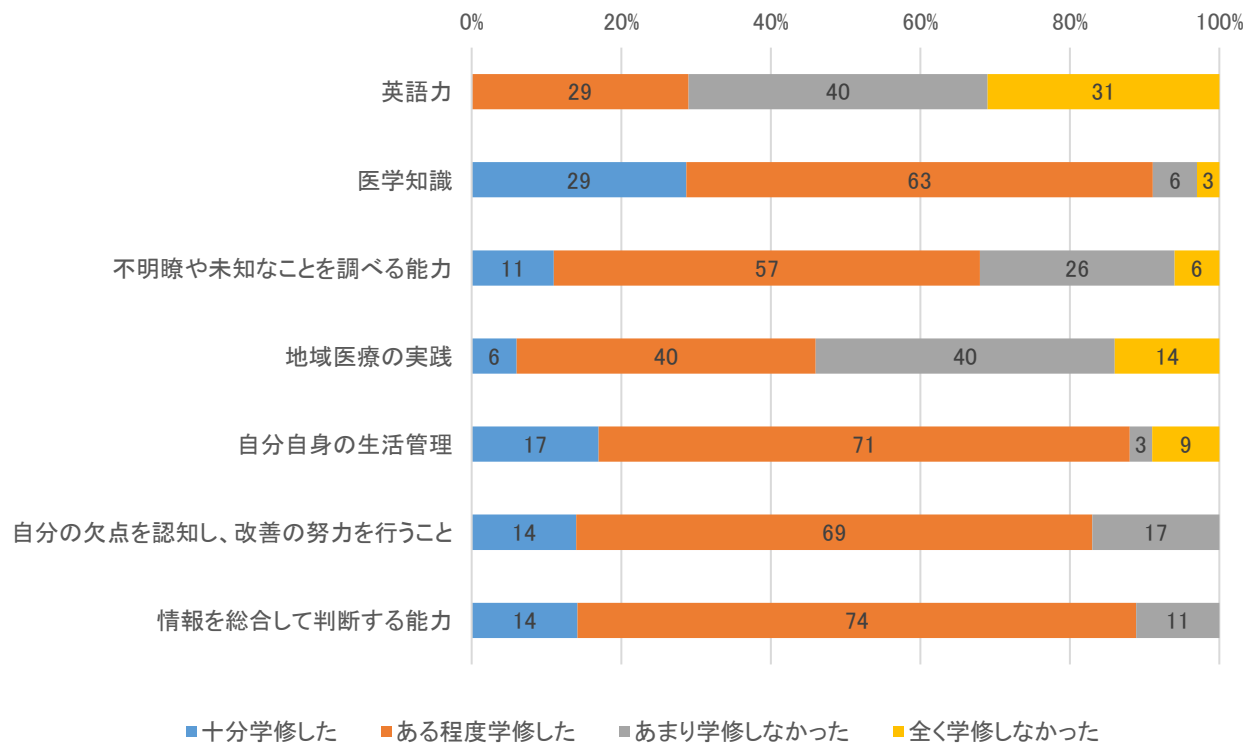
現在の仕事での必要性2



大学時代に養われた満足度1



大学時代に養われた満足度2



生涯教育として学修したい内容

(人)

